

自ら学び 豊かな心で たくましく生きる生徒



しただの郷学園
下田中学校便り第13号
令和3年3月23日発行

文責 校長 小林貴英

下田中の発展 個々の成長を目指して

先週、生徒朝会をリモートで実施しました。本部役員による説明が校内放送で流れ、各教室にいる全校生徒がそれを聴きます。今回は来年度生徒会スローガンに盛り込む文字について考えました。現在、全校生徒から出たたくさんのアイデアを一つの形にしていく行程に入っています。新しいスローガンの完成が楽しみです。

さて、この生徒朝会の説明放送の中で清水唯斗副会長が発した言葉が私の心に残りました。それは「当たり前の基準が高い学校を目指していきましょう」という全校へのメッセージです。令和2年度は大変な1年間ではありましたが、下中生は落ち着いた生活を送ることができました。それが実現できたのは、下田中学校が正しい判断ができる集団であったからです。そんな集団に向けた清水副会長の言葉の意味は何か。下田中学校はこれから質的な向上を目指すべきであり、今動き出そうということだと私は捉えました。生徒会本部役員という立場になり自分なりに考えた下田中学校の未来。リーダーのこの言葉に答えるべく、今の下田中学校を動かす私たち（生徒と職員）が、少しずつ質を上げていく意識をもっていきたいと思います。それぞれの立場・役割で具体的な取組を進めましょう。

令和3年度のスタートが近づいています。みなさん一人一人はどんな自分の成長を描いていますか。自分の質を上げるための具体的な行動計画を立て、4月を迎えましょう。

部活動紹介ムービー

各々が部活動紹介ムービーを製作しました。裏面に続く。



新入生へ届ける思い

グラウンドの雪解けとともに、下田中学校の部活動は一層活気に満ちてきました。厳しかった冬の寒さを感じることなく、屋内外で下中生は生き生きと活動しています。

さて、例年6年生が入学前、中学校の部活動を体験する機会があります。6年生は毎年それを楽しみにしていますし、中学生もまた、先輩として優しく教えてあげようとやる気満々です。しかし今年度はその中止が決定し、両者とも残念な気持ちを抱いていました。こんなときにできることはないだろうか…そこで思いついたのが、部活動紹介ムービーを作って小学校に贈ろうという企画でした。

心待ちにしていた部活動の体験ができなかった6年生に向けて、自分たちの部活動をいかにアピールするか部員でアイデアを出し合い、撮影スタート。各部の持ち時間は50秒程度。試行錯誤し何度も撮影をやり直す部もありました。各部の活動の魅力、真剣さ、楽しさ、やりがいなどをぎっしり詰め込んだDVDが完成し、先日小学校へ届けました。

1か月後には、新入生に自分たちの生の姿を見せることとなります。そのときに備えて、新2・3年生の活動はますます盛り上がってきています。

**65名の新入生みなさん、
入学を待っています！**



保護者、地域、関係する皆様の御理解と御協力のお陰で、令和2年度の下田中学校の教育活動が無事に終わろうとしています。令和3年度も一層充実した下田中学校の姿をお見せできるように、全校生徒・教職員が力を合わせて参ります。